

発作性上室頻拍(PSVT)・心房粗動(AFL)用アブレーションクリニカルパス

様

	入院当日 /	治療当日 /	退院日 /
観察	<ul style="list-style-type: none"> 足の甲の脈の触れます 足先の温かさをみます 動悸(ドキドキするか)をみます 	<p>治療後は以下のことを観察します</p> <ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れたところの出血はないか 足の甲の脈の触れます 足先の温かさをみます 息苦しさがないかみます 	
安静	<ul style="list-style-type: none"> 治療終了後、看護師が出血の有無を確認するまでは制限がありますが、その他の日は制限はありません 	<p><治療終了> <医師診察> <看護師確認></p> <p>安静度は治療後に医師の指示があります</p>  <p>↓ ↓ ↓</p> <p>約4~8時間 約4~8時間</p> <p><絶対安静> <ベッド上安静></p> <ul style="list-style-type: none"> 足を曲げることが出来ません ベッド上で起き上がれます トイレまで歩行できます 便器、尿器使用 便器、尿器使用 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 水分制限の必要な方は主治医の指示に従ってください その他の方は制限ありません 	<p>*食事の有無・摂取方法は以下のようになります</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食は中止か軽食になります 昼食は寝たまま介助になります(介助にて) 夕食はベッドの上で座って食べられます <p><治療前の薬は少量の水で飲んでください。それ以降は、治療終了まで控えてください></p> <p><治療終了後は、医師より飲水制限の指示がある場合はその範囲内となります></p>	<p>退院日の朝食はイスに座って食事ができます</p>
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 除毛後に入浴できます 	<p>・入浴はできません (絆創膏ははがさないでください)</p>  	<p>・入浴はできません(シャワー浴のみできます)</p> <p>・入浴は退院日の翌日からできます</p> <p>・絆創膏は入浴時に剥がしてください (入浴前に剥がれてしまった場合は再度貼る必要はありません)</p>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 安静の項目を御参照ください(希望時は尿道カテーテルを挿入します) 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 下腹部から膝上までの除毛を行います 足の甲にマジックで印を付けます 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対安静解除の時に医師が針を刺したところの止血の確認と消毒を行います ベッド上安静解除の後に看護師が付き添って歩行します 	<p>治療翌日、医師の診察後に点滴の針を抜きます。</p>
検査	<p>必要時、入院時に採血、心電図、レントゲンを行います</p>	<p>・治療後、必要時心電図モニターを装着します</p> 	<p>必要時、退院前に採血、心電図、レントゲンを撮ります</p>
薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬を提出してください 薬の内容を確認し医師の指示の物を内服して頂きます 	<ul style="list-style-type: none"> 血糖降下剤は中止、又は治療後内服していただきます 利尿剤は中止、又は治療後内服していただきます 抗生素を治療当日から2日間内服していただきます 治療当日に点滴を行います 	
説明 退院計画	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内の御案内をします 医師・看護師が治療の説明をします 治療の同意書の確認をします 治療に必要な持ち物の確認をします 	<ul style="list-style-type: none"> 検査室へ行く前に以下のものを外してください 眼鏡・コンタクトレンズ・時計・ピアス・義歯・指輪・ネックレス・ヘアピン・化粧・下着・靴下・マニキュア 検査室へ行く前にトイレを済ませ、病衣、T字帯に着替えてください 治療後、医師から結果説明があります (今後の治療方針など) 	
指導	入院診療計画書をお渡します	治療結果による内服薬の変更がある場合、薬剤師から薬の説明があります	
目標	治療について説明内容が理解でき納得して治療が受けられる	治療後の合併症(気胸・出血・腰痛)出現時、早期に発見し対処できる	<p>退院後の注意点が理解できる</p> <ul style="list-style-type: none"> 穿刺部の痛み、しびれ、出血が続く場合、発赤、腫脹、熱感、膿がみられる場合受診してください

